



銀座の言語景観9

日本大学文理学部国文学科
日本語学基礎演習2

- はじめに
- フロアガイドの報告と分析
- パンフレットの報告と分析
- 免税カウンターの報告と分析
- トイレの報告と分析
- エレベーターの報告と分析
- エスカレーターの報告と分析
- 臨時的掲示時計売場の報告と分析
- 臨時的掲示電化製品売場の報告と分析
- 臨時的掲示コスメ売場の報告と分析
- 臨時的掲示伝統工芸品売場の報告と分析
- 店内放送の報告と分析
- ホームページの報告と分析



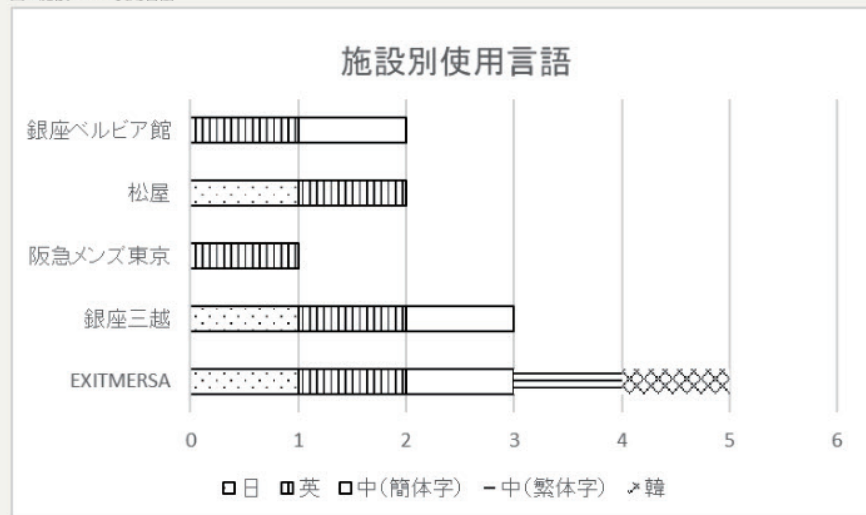
第4章 免税カウンターの報告と分析

4.5.免税カウンターのあるフロアでメインエスカレーターの近くにある一番最初に見る案内表記からわかる言語景観の分析（松尾心愛）

表4.エスカレーター近くの免税カウンターの表記の言語景観

施設名	日	英	中(簡)	中(繁)	韓
EXITMELSA	1	2	3	4	5
銀座三越	3	1	2		
阪急メンズ東京		1			
松屋	2	1			
銀座ベルビア館		2	1		

図2.施設ごとの使用言語



免税カウンターのあるフロアで掲示されている案内表記は各店舗の規模ごとに言語の種類が違ってくるのがわかる。店舗の立地などこの通りに面しているかなどで言語の種類に大きく関連しているといえる。使用言語数から考えると全体的に少なく、字体で理解するよりもピクトグラムで外国人は理解すると推測する。

写真4.松屋1階のメインエスカレーターの免税カウンターへの表記



エスカレーター付近の表示を見ると、やはり言語の種類も英語、日本語の2言語だけと少ないことが分かる。このことから他の言語を使う外国人へのサービスは低いことが分かる。また英語は世界共通言語なので多く見られることは納得できた。

表5.通りに面しているかによる言語数の差

施設名	大通りに面している	言語数
EXITMELSA	○	5
銀座三越	○	3
阪急メンズ東京	×	1
松屋	×	2
銀座ベルビア館	×	2

店舗がどこに立地されているかで言語数に違いが出てきた。このことから訪日外国客は大通りにある店舗に行く割合が高いことが推測できた。

4.1.調査概要

4.4.施設の正面入り口のフロアガイドの免税カウンターの案内表記について（海老名昂汰）

4.6.免税カウンター入り口の案内表記から見る言語景観（武末文香）